

駅周辺に関連する主な現況（第1回懇談会資料を整理）
（青字は、第1回懇談会資料で説明しているページです。）

駅周辺における課題（例）
本日皆さんに意見交換していただきたい
テーマです

■土地・建物利用の現況

● 西武新宿線により市街地が分断されている。
(p. 7・8)

● 北口・南口が一体となった駅周辺地域における賑わいの形成

● 「屋外利用地・仮設建築物」「未利用地等」が点在している。
(p. 43)

● 駅周辺や西3・4・16（かえで通り）沿道に商業施設が立地しているが、商業地域において土地の高度利用がされていない（商業地域の充足容積率が50%未満に留まる）。
(p. 44・46)

● 土地を有効に活用したまちづくり

● 地域住民の生活を支える公共公益施設が少ない。
(p. 43)

● 市民のニーズに対応した暮らしやすいまちづくり

■交通の現況

● 駅前広場がバスやタクシーなどの乗り換え機能に特化している。
(p. 49)

● 駅前広場及びその周辺における人々が集い・憩える空間の確保

住宅地に関連する主な現況（第1回懇談会資料を整理）
（青字は、第1回懇談会資料で説明しているページです。）

住宅地における課題（例）
本日皆さんに意見交換していただきたい
テーマです

■土地・建物利用の現況

- 低層の戸建て住宅（1・2階）が大部分を占めているが、集合住宅も散見されるなど、戸建て住宅と集合住宅が混在している。（p. 43, 44, 45）

- 建築物の高さの調和を図るなどの現在の居住環境の維持・保全・向上

■人口・世帯の現況

- 25歳～34歳及び14歳以下の人口が大きく減少している。（p. 59）
- 東伏見駅周辺地区の人口・世帯数は、10年前から減少傾向（市総人口・総世帯数は増加傾向）。（p. 55, 56）
- 市全体、東伏見駅周辺ともに、高齢化が進んでいる。（p. 58）

- 若い人たちも住みたいと感じる魅力あるまちづくり
- 高齢者の増加に対応した、いつまでも住み続けられるまちづくり

■防災・防犯の現況

- 非耐火構造の建築物が多く見られる。（p. 60）
- 低層住宅地において狭隘道路（幅員4m未満）が見られる。（p. 61）
- 広域避難場所が西武新宿線の南側の地区に集中している。（p. 63）

- 災害に強いまちづくり
- 地区における安全性の確保
- 災害時の安全な避難経路の確保

■交通の現況

- 地区外周道路（新青梅街道、調布保谷線、青梅街道）及び付近の住宅地で交通事故が発生している。（p. 52）

- 交通事故が発生しにくい道路空間の形成